

かとうせきかいらんぼん 可動堰回覧板

平成19年11月1日号 (No.28)
国土交通省北陸地方整備局
信濃川河川事務所大河津出張所
TEL 0256-97-2121
E-mail shinano@hrr.mlit.go.jp

回覧

11月からの堰本体コンクリート工事の予定などについてお知らせします。

堰本体工事が本格化しています

これまで可動堰本体工事は、土砂掘削・仮設備・基礎杭などの工事を行ってきましたが、今後はコンクリート構造物の工事が本格的に始まり、工事現場は最盛期を迎えます。10月より左岸部の擁壁・魚道などの工事が徐々に始まっていますが、特に下の写真に示す2箇所の堰柱底版部については、11月下旬、12月上旬の各1日で約2,000m³のコンクリートを打設する計画で、6箇所の工場から生コンクリートを搬入する予定です。このような多量のコンクリート工事は、周辺の道路事情などを考慮し下表の日程(いずれも土曜日)で行う予定としていますが、これに伴いコンクリート運搬車の通行台数が大幅に増えるため、沿線の皆様にはご迷惑をおかけしますが、安全優先で工事を行いますのでご協力をお願いします。

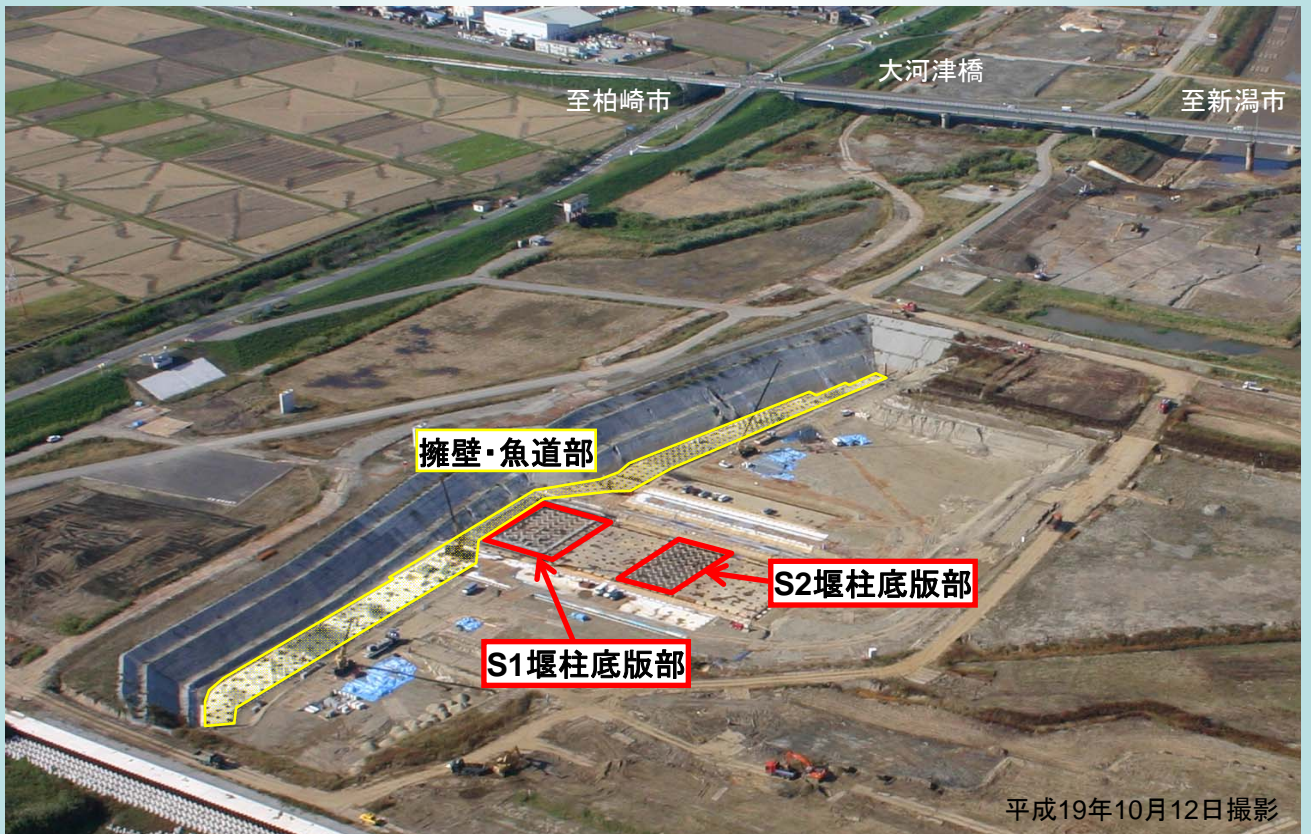
なお、今後の工事においてもこのような多量のコンクリート工事を行う予定がありますので、日程等が決まり次第、可動堰回覧板などでその都度お知らせしていく予定です。



施工箇所	工事予定日
S1堰柱底版部	平成19年11月24日(土)
S2堰柱底版部	平成19年12月 1日(土)

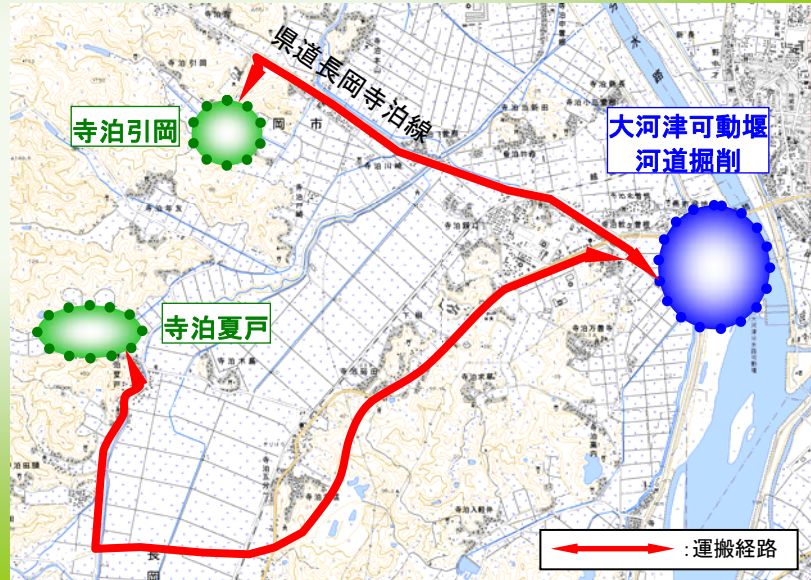
※日程は天候などの事情により変更となる場合があります。

多くの重機や資材が搬入され、活気を見せる工事現場の様子



工事の進捗状況について『大河津可動堰下流河道掘削及び護岸その6工事』

大河津橋左岸上流側の遺跡調査が終了した箇所において、10月より土砂掘削工事を行っています。掘削した土砂は、先月号の回覧板でもお知らせしたように、圃場整備箇所である長岡市寺泊夏戸地先及び引岡地先に運搬しています。11月以降も引き続き土砂掘削、運搬などを継続し、その後に護岸工や根固工を行います。土砂運搬に伴うダンプ車輛の通行などで地域の皆様にはご迷惑をおかけしますが、安全に十分配慮して工事を進めますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



可動堰改築事業の必要性と効果について

現在行っている可動堰改築事業の必要性と効果については、これまでの回覧板でもご紹介してきましたが、なぜ可動堰の改築が急がれるのか、また可動堰を新しくすることによる効果について、改めてご説明します。

『現在の可動堰の状況』

1. 可動堰底部のほぼ全域にわたって空洞(最大16cm)があり、堰の安全性が低下している
2. 堰柱・管理橋の傷み、架台・ゲートの腐食が堰全体に進行している
3. 可動堰直下流の右岸側は高水敷(河川敷)が無いので、洪水時には右岸堤防に水当たりが集中し、堤防決壊の危険性がある
4. 可動堰地点の河床が高いため、小千谷地点より下流区間では、洪水を安全に流す事ができる能力が最も小さい

『可動堰改築事業による効果』

- ・より安全性の高い施設に生まれかわります。【上記1. 2. の課題の解消】
- ・右岸側堤防に直接当たっていた洪水が、分水路の中央をスムーズに流れ、右岸水衝部(直接洪水が当たる部分)が緩和されます。【上記3. の課題の解消】
- ・可動堰地点の河床を現在より約4m下げる事により、洪水を安全に流すことができる能力が向上します。【上記4. の課題の解消】

『可動堰なんでも電話』を開設し、みなさんからのご意見・ご質問などをお待ちしております。
0258-32-3134 (平日 AM9:00~PM4:00)

工事や河川に関することはなんでも大河津出張所へ Tel 0256-97-2121(建設監督官在所)
大河津出張所 : 大河津分水全般に関する工事監督・維持管理等
建設監督官(可動堰改築担当): 大河津可動堰改築事業に関する工事監督等

信濃川河川事務所

<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/>

可動堰情報館

<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/kadouzeki/>

信濃川大河津資料館

<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/ohkouzu/index.html>